

「口座を変えれば世界が変わる」キャンペーンについて

A SEED JAPAN エコ貯金プロジェクトでは、2005年3月から現在まで「口座を変えれば世界が変わる」キャンペーンを継続的に実施しています。これは、「環境・社会により配慮していると思われる金融機関を自らの意志で選択し、その金融機関にお金を預けかえる」という宣言（＝エコ貯金宣言）を市民のみなさんから集め、また同時に市民から金融機関に対するメッセージを集める、という市民参加型の啓発キャンペーンです。



「口座を変えれば世界が変わる」キャンペーンの様子

これまでに、アースデイ東京、エコプロダクツ展等の環境イベント、ap bank fes、Fuji Rock Festival等の音楽イベントでのブース出展等を通じて、本キャンペーンには2009年6月現在で約1300人の方に参加していただいております。宣言額（預けかえると宣言された預貯金額の合計）は累計で8億円を突破しています。もちろん、あくまで「宣言」ですので、参加した方全員が口座を実際に移したかをトレースしているわけではありません。しかし、参加者から宣言後に「NPOに融資をしている金融機関に預けかえた」「NPOバンクに出資してみた」といったご連絡をいただくこともあり、エコ貯金宣言は「環境・社会配慮型の金融機関を支持する、リアルな意思表示」としての役割を果たしていると考えております。

以下に、本キャンペーンで集められた、市民のみなさまからの金融機関に対するメッセージを、ごく一部ですが抜粋して掲載いたします。金融機関の社会性に対する期待が込められたメッセージとして、貴行のCSR推進のご参考としていただければ幸いです。

【市民から金融機関へのメッセージ】（抜粋）

- ・利用者が金融機関の融資先を見極める時代です。環境や社会問題解決のための貢献を期待しています。
- ・世の中のためになるお金の使い方を私達も意識して預けたいと思っています。利益追求ばかりでなくお金の力で世界を変えていって下さい。
- ・自分が預ける先の金融機関には、エコロジーや人権にシビアであって欲しいと切に願います。
- ・銀行・金融機関には、永続的社会を構築していく核となっていただきたいです。
- ・100年先、200年先の世代のために融資先を選んでほしい。
- ・地球の豊かな自然やよりよい環境があってこそ人類が生存できる。その中で企業は自社の利益を追求するだけでなく社会貢献も考え活動をして欲しいと思います。
- ・地域への貢献や社会的責任を果たすことの重要性（そのことが利用者へのアピールになる）をもっと認識してほしい。
- ・環境に特化した融資用の口座が開けるシステムが出来ると良いと思っています。
- ・経済を追い求めるだけでなく、環境への配慮も視野に入れてほしい
- ・再生可能エネルギーに金融機関自ら大規模に融資をしてほしい。
- ・環境に配慮した商品や取組みをもっとしていただきたいと思います。環境の悪化は深刻です。
- ・米 CDFI やマイクロファイナンスのような、ソーシャルビジネス関連の融資のしくみを、協会・業界団体一団となってインフラ整備を進めてほしい。
- ・担保価値のある資産をあまり持たない NPO に対して、低利で融資して欲しいです。
- ・今後融資先の透明性をもたせて欲しい。
- ・今まで自分のあずけている銀行（郵貯）の融資先など考えたことがありませんでした。知った今、銀行への見方が変わりました。もしより多くの人が事実を知れば、エコを考えない機関は今後消えていくことと思います。
- ・兵器産業にお金を回して欲しくありません。銀行さんが「どういったところ、どういった企業にお金を回して欲しい」と私達、市民が考えているのかを考えた運用をしてほしいです。
- ・自分の預けていたお金が知らない間に、戦争や環境破壊になることに使われているなんて知りませんでした。国の言いなりではなく金融機関それぞれが意思を持ち、何に使われているかを公表するよう望みます。そうすれば国民は、どこも同じとは思わないで、自分の考えに沿った金融機関を選ぶようになるでしょう。